

記者各位

ゴーゴン・プロジェクト LNG 売買契約締結について

当社（社長：木村康）は、このたび米国シェブロン社のオーストラリア子会社（以下「シェブロン社」）との間で、ゴーゴン・プロジェクトにおいて生産される LNG（液化天然ガス）の売買契約（SPA：Sale and Purchase Agreement）を締結いたしましたので、お知らせいたします。

ゴーゴン・プロジェクトは、シェブロン社をオペレーターとして、西オーストラリア州で開発が進められている LNG プロジェクトであり、2014 年から供給が開始される予定です。

当社とシェブロン社は、2009 年 12 月に、年間 30 万トンのゴーゴン LNG を 2015 年（予定）から 15 年間に亘り売買することについて基本合意しており、以降詳細条件の協議を進め、この程合意に達しました。なお、本契約は、当社が LNG 買主として初めて締結する長期契約となります。

当社は、ゴーゴン LNG を、青森県八戸市で建設を進めている「八戸 LNG ターミナル」（2015 年 4 月運転開始予定）にて受入れ、そこから産業用を中心に天然ガス・LNG の需要増加が見込まれる北東北地域ならびに新設する釧路 LNG ターミナル（2015 年 4 月運転開始予定）を通じて道東地域へ供給する予定です。

当社は、今後とも環境特性に優れた天然ガス・LNG の普及と、その事業展開を通じた地域振興に貢献してまいります。

記

1. 売買契約書の概要

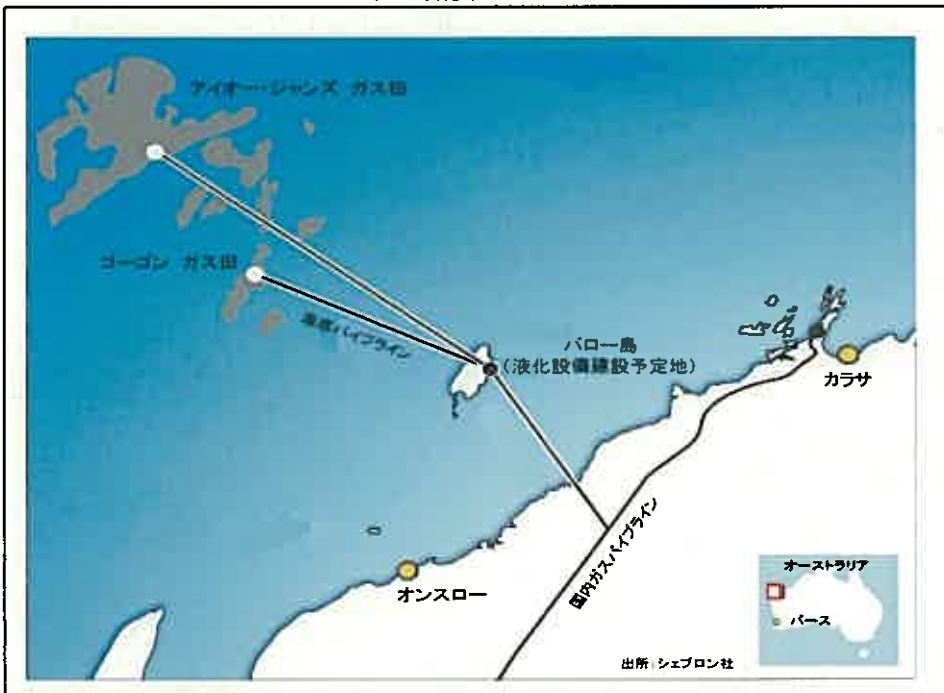
- (1) 売主 : シェブロン・オーストラリア社 (Chevron Australia Pty Ltd) および
シェブロン (TAPL) 社 (Chevron (TAPL) Pty Ltd)
- (2) 買主 : JX 日鉱日石エネルギー株式会社
- (3) 締結日 : 2011 年 5 月 9 日
- (4) 契約期間 : 2015 年（予定）から 15 年間
- (5) 契約数量 : 30 万トン/年
- (6) 受渡条件 : 着船渡し (Delivered Ex Ship)



エネルギーを、ステキに。ENEOS

www.no.e.jx-group.co.jp

2. ゴーゴン LNG プロジェクトの概要



- (1) ガス田位置 : オーストラリア西オーストラリア州北西部沖合
- (2) 液化基地予定地: パロー島
- (3) 液化設備能力 : 1,500万トン/年 (500万トン×3系列)
- (4) 生産開始時期 : 2014年 (予定)
- (5) 参加企業 : シェブロン 47.333%、エクソンモービル 25%、シェル 25%、大阪ガス 1.25%、東京ガス 1.0%、中部電力 0.417%

3. 北東北地域ならびに道東地域における天然ガス・LNG 供給イメージ

